

2020年度 第2四半期 連結決算説明資料

< 2020年11月13日 >

株式会社 西島製作所

証券コード：6363

www.torishima.co.jp

【1】 2020年度中間決算実績

【2】 新型コロナ禍での守りと攻め

【3】 2020年度通期決算見通し

			前年同期比
● 受注高	—	268億円	+31億円
● 売上高	—	182億円	+6億円
● 営業利益	—	▲5億円	+13億円
● 経常利益	—	▲2億円	+17億円
● <small>親会社株主に帰属する</small> 当期純利益	—	▲4億円	+20億円

2020年度第2四半期連結決算実績

受注：国内官需は40%増、民需は横ばい、海外はコロナの影響があったものの5%減にとどまり全体では13%増の268億円。
 売上：国内官需及び民需はほぼ横ばい、海外は8%増で、全体では4%増の182億円。
 利益：前年同期に計上した一時的減益要因がなくなり販管費も減少し、営業利益は13億円の改善。

単位：億円	2019年度 第2四半期	2020年度 第2四半期	増減額	
			額	%
受注高	237	268	+31	+13.1%
売上高	176	182	+6	+3.4%
売上総利益 (売上総利益率)	39 (22.2%)	41 (22.5%)	+2 (+0.3pt)	+5.1% —
販管費	57	46	▲11	▲19.3%
営業利益 (営業利益率)	▲18 (▲10.2%)	▲5 (▲2.7%)	+13 (+7.5pt)	—
営業外損益	▲1	3	+4	—
経常損益	▲19	▲2	+17	—
特別損益	▲2	+0	+2	—
親会社株主に帰属する 当期純利益	▲24	▲4	+20	—

期末レート (1USD)

2019/3末:110.99円
2019/9末:107.92円

2020/3末:108.83円
2020/9末:105.80円

2020年度第2四半期 連結決算実績 (単体・子会社別)

■単体

単位：億円

	2019年度 第2四半期	2020年度 第2四半期	増減	
			額	%
売上高	137	135	▲2	▲1.5%
売上総利益 (売上総利益率)	21 (15.3%)	21 (15.5%)	±0 (+0.2pt)	±0 —
販管費	40	32	▲8	▲20.0%
営業利益 (営業利益率)	▲19 (▲13.9%)	▲10 (▲7.4%)	+9 (+6.5pt)	—

■子会社

単位：億円

	2019年度 第2四半期	2020年度 第2四半期	増減	
			額	%
	39	47	+8	+20.5%
	18 (46.2%)	20 (42.6%)	+2 (▲3.6pt)	+11.1% —
	17	14	▲3	▲17.6%
	1 (2.6%)	5 (10.6%)	+4 (+8.0pt)	+400%

- 売上高及び売上総利益は、ほぼ横ばい。
- 前年同期比に計上した貸倒引当金や無償コストの発生など減益要因がなかったことと販管費の減少により営業利益は9億円改善。

- コロナの影響で海外子会社全般で受注活動は減速しているものの、受注残を確実に売上げ増収。
- 相対的に利益率の高いサービス子会社の売上が減少した一方、生産子会社の増収したものの売上総利益率はやや低下。
- 販管費の削減により営業利益は4億円増。

【1】 2020年度中間決算実績

【2】 **新型コロナ禍での守りと攻め**

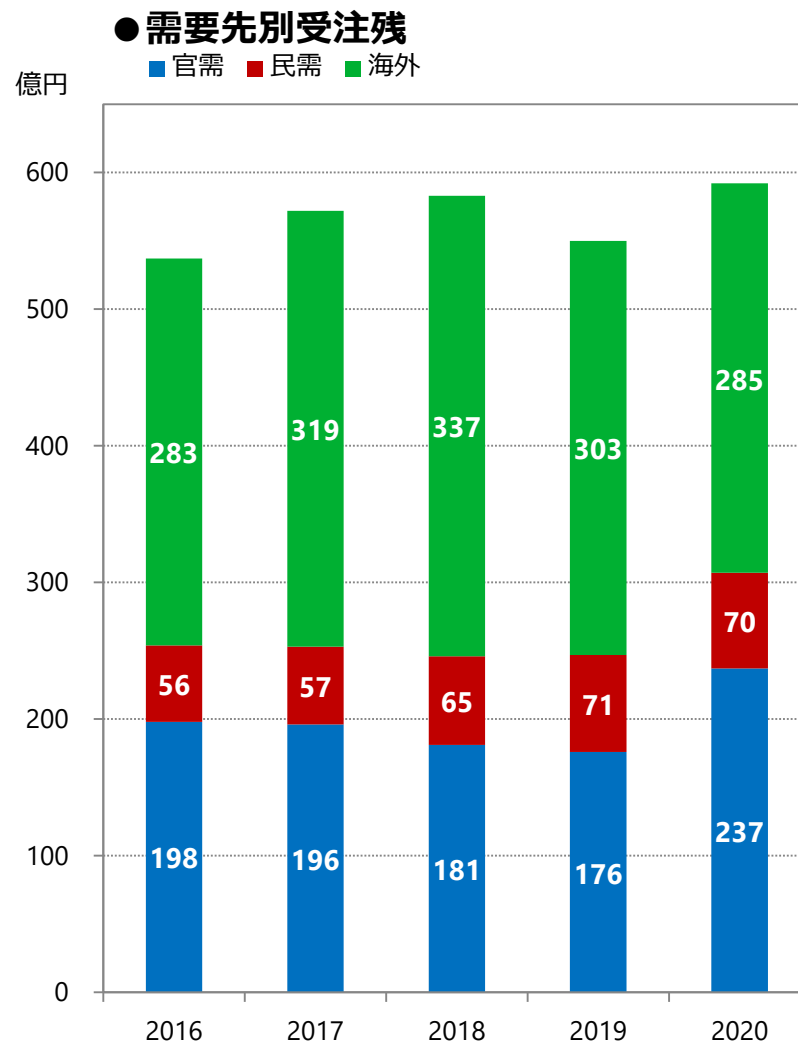
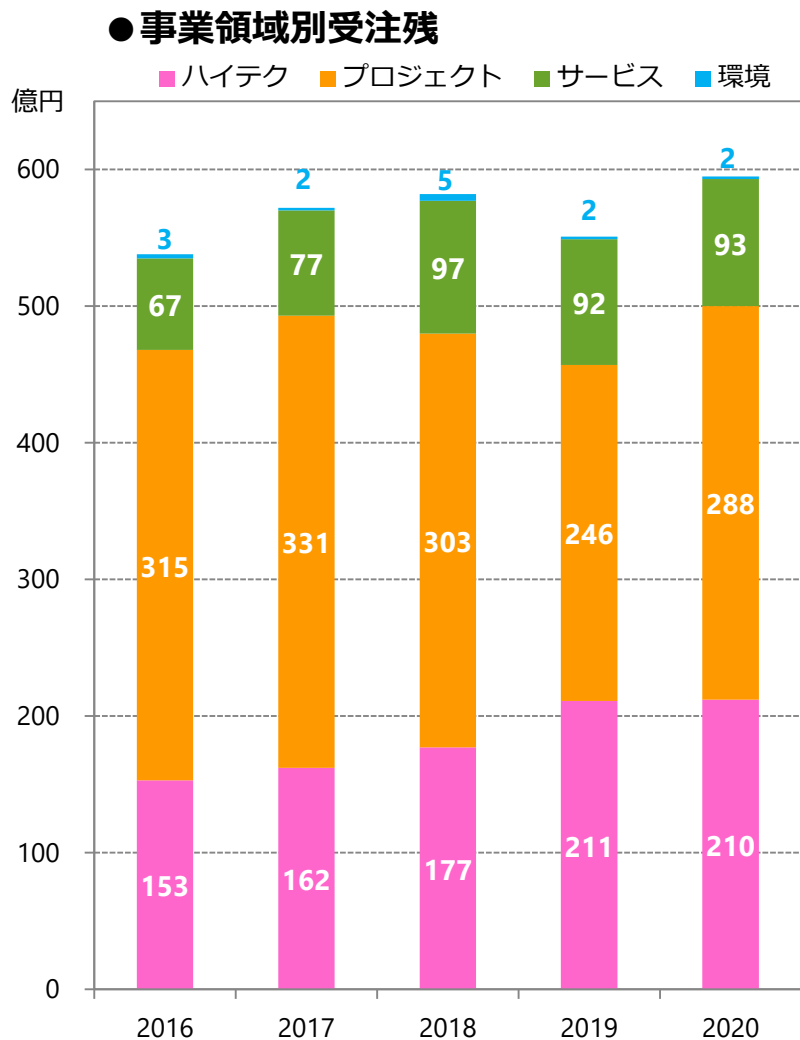
【3】 2020年度通期決算見通し

	コロナの影響	10年間の受注推移(百万円) 2011-2019は通年、2020下期は見込み																						
ハイテクポンプ	国内海外ともにほぼ影響なし。海外の海水淡水化プラント向けポンプや水処理プラント向けポンプ、国内のバイオマス発電向けポンプなど堅調。	<table border="1"> <caption>ハイテクポンプの受注推移 (百万円)</caption> <thead> <tr><th>年</th><th>受注額</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>11</td><td>14,000</td></tr> <tr><td>12</td><td>16,000</td></tr> <tr><td>13</td><td>20,000</td></tr> <tr><td>14</td><td>10,000</td></tr> <tr><td>15</td><td>17,000</td></tr> <tr><td>16</td><td>10,000</td></tr> <tr><td>17</td><td>12,000</td></tr> <tr><td>18</td><td>15,000</td></tr> <tr><td>19</td><td>14,000</td></tr> <tr><td>20</td><td>14,000</td></tr> </tbody> </table>	年	受注額	11	14,000	12	16,000	13	20,000	14	10,000	15	17,000	16	10,000	17	12,000	18	15,000	19	14,000	20	14,000
年	受注額																							
11	14,000																							
12	16,000																							
13	20,000																							
14	10,000																							
15	17,000																							
16	10,000																							
17	12,000																							
18	15,000																							
19	14,000																							
20	14,000																							
プロジェクト	国内プロジェクト（官需）はほぼ影響なく、昨年度を上回る状況。海外は当初より大型受注は見込んでいないため影響はなし。	<table border="1"> <caption>プロジェクトの受注推移 (百万円)</caption> <thead> <tr><th>年</th><th>受注額</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>11</td><td>13,000</td></tr> <tr><td>12</td><td>13,000</td></tr> <tr><td>13</td><td>20,000</td></tr> <tr><td>14</td><td>14,000</td></tr> <tr><td>15</td><td>20,000</td></tr> <tr><td>16</td><td>19,000</td></tr> <tr><td>17</td><td>14,000</td></tr> <tr><td>18</td><td>17,000</td></tr> <tr><td>19</td><td>17,000</td></tr> <tr><td>20</td><td>18,000</td></tr> </tbody> </table>	年	受注額	11	13,000	12	13,000	13	20,000	14	14,000	15	20,000	16	19,000	17	14,000	18	17,000	19	17,000	20	18,000
年	受注額																							
11	13,000																							
12	13,000																							
13	20,000																							
14	14,000																							
15	20,000																							
16	19,000																							
17	14,000																							
18	17,000																							
19	17,000																							
20	18,000																							
サービス	国内は1Qに比較すると緊急事態宣言も解除されて、回復傾向にあり昨年度並み。海外は上期実績で昨年度比30%減。いまだコロナの影響により外出規制が厳しく今後の見通しも不透明。	<table border="1"> <caption>サービスの受注推移 (百万円)</caption> <thead> <tr><th>年</th><th>受注額</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>11</td><td>10,000</td></tr> <tr><td>12</td><td>11,000</td></tr> <tr><td>13</td><td>11,000</td></tr> <tr><td>14</td><td>17,000</td></tr> <tr><td>15</td><td>12,000</td></tr> <tr><td>16</td><td>13,000</td></tr> <tr><td>17</td><td>15,000</td></tr> <tr><td>18</td><td>18,000</td></tr> <tr><td>19</td><td>17,000</td></tr> <tr><td>20</td><td>13,000</td></tr> </tbody> </table>	年	受注額	11	10,000	12	11,000	13	11,000	14	17,000	15	12,000	16	13,000	17	15,000	18	18,000	19	17,000	20	13,000
年	受注額																							
11	10,000																							
12	11,000																							
13	11,000																							
14	17,000																							
15	12,000																							
16	13,000																							
17	15,000																							
18	18,000																							
19	17,000																							
20	13,000																							

**海外サービスの減少分をプロジェクトがカバーし、
全体としては今のところ、コロナの影響はほとんど出ていない。**

第2四半期末の受注残推移

受注残は例年並みを確保しており、来年度の売上も例年並みを見込む。



工場及び据付工事現場

国内外ともに感染予防対策を講じながら通常稼動

上記以外の事務部門

- ・ 継続的に計画テレワークを実施
- ・ ITを積極的に活用し、生産性を向上

ペーパーレス
脱印鑑

情報の一元化・共有化
業務の見える化

固定費比率の削減

回転機械の状態監視システム（TR-COM）の販売推進

トリシマの強み① データの蓄積と周波数の拡大で高度な解析が可能

取得する周波数レンジを1,000Hzから10,000Hzに拡大
通常では難しいとされる「故障予知」が可能に

トリシマの強み② ポンプのプロならではの質の高いサポートが可能

センサをつけるだけでは異常を発見して終わりでも、トリシマなら、
トラブルの原因と解決策をアドバイスできる

トリシマの強み③ 「見守りサービス」で安心・安全をお届け

トリシマ内部で毎日データを確認し、データに変化があればお客様に連絡
情報を共有することで、より「進化」していける



トリシマのTR-COMが 2020「TPM[®]優秀商品賞 実効賞」受賞

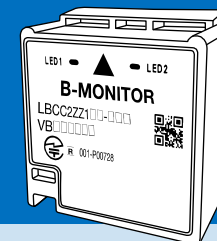
公益社団法人 日本プラントメンテナンス協会の「TPM[®]優秀商品賞」において、
トリシマの**TR-COMが「実効賞」**に選ばれました。

「TPM[®]優秀商品賞」は、メンテナンス機器に関する新技術の開発を奨励し、メンテナンス技術の進歩を促進するために制定された審査・表彰制度です。

今回受賞した「実効賞」は、市場において**優れた実績**があるもので、使用上の**ノウハウが蓄積**され、**サービスも万全**でユーザーがいつでも有効に使用でき、**大きな実益**をあげるものを対象としています。



2020 TPM[®] 優秀商品賞 実効賞

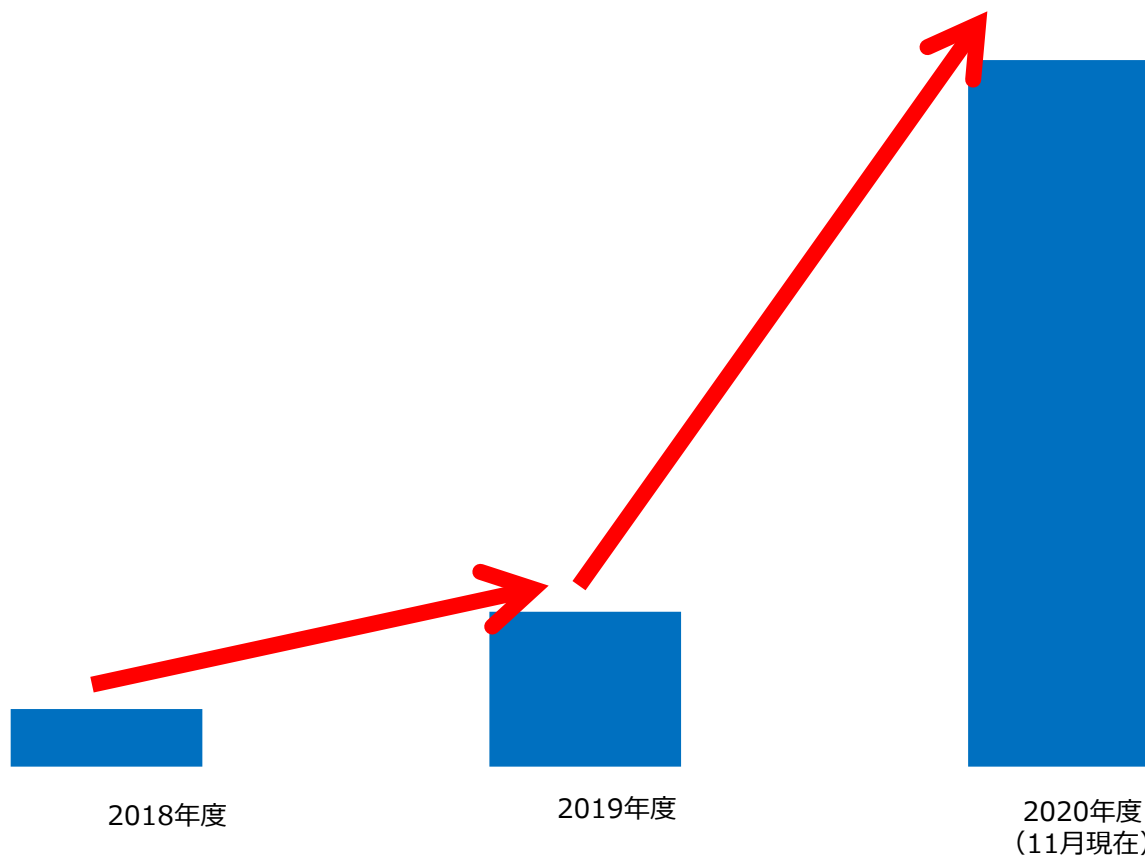


回転機械 簡易モニタリングシステム

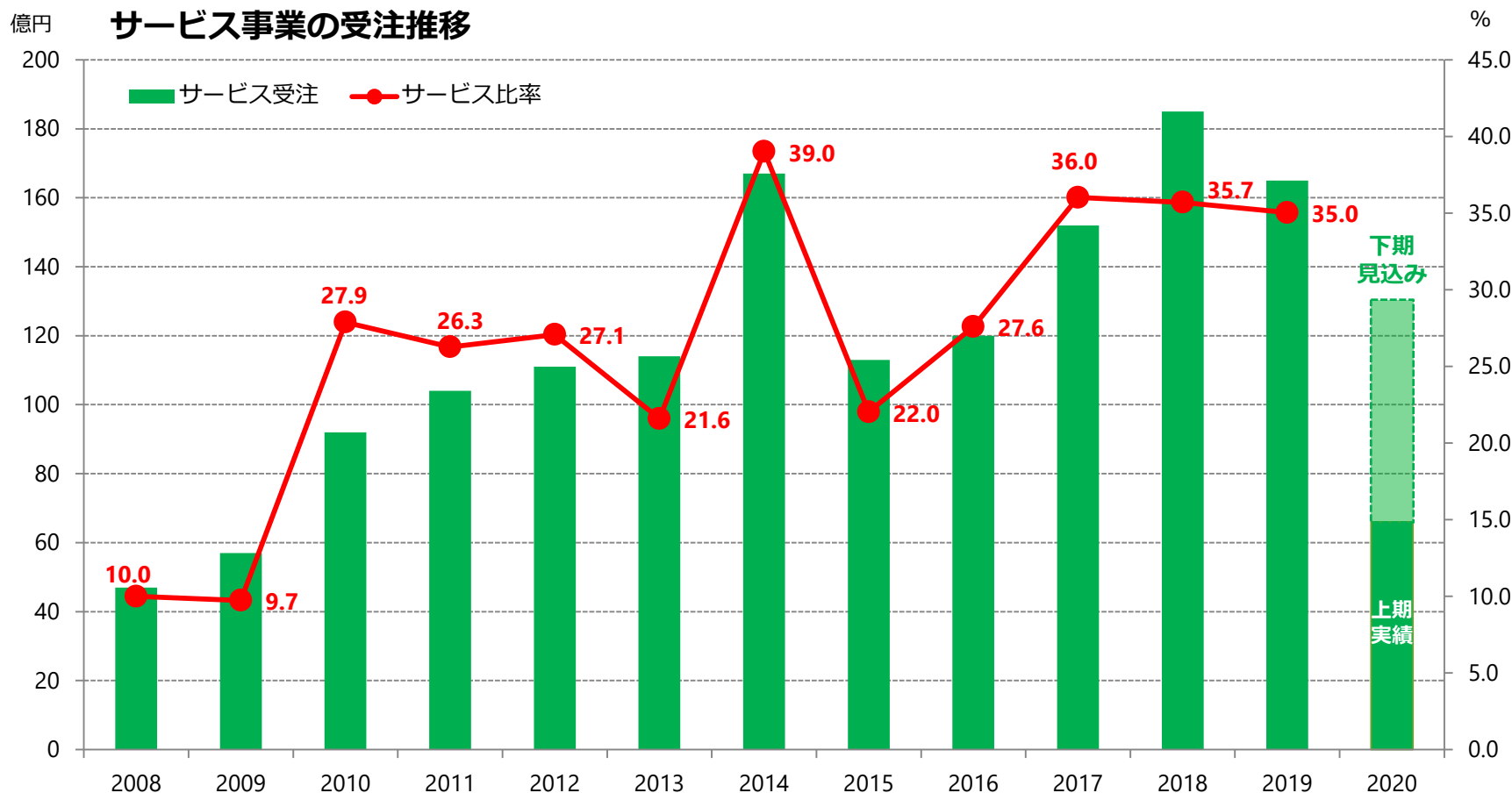
TR-COM

株式会社 西島製作所

2018年度から市場販売を開始したTR-COMが順調に進捗し、
コロナ禍における需要増加で大型受注も増加。
今後も“サービスのニューノーマル”を提供。



順調だったサービス事業が、コロナの影響でとくに海外で減速。
 今後の見通しも不透明。それをカバーするべく、TR-COMの海外展開を進め、
 既存顧客との関係性強化、先の需要につなげていく。
 すでにアジア諸国で製品認証を取得、受注開始。



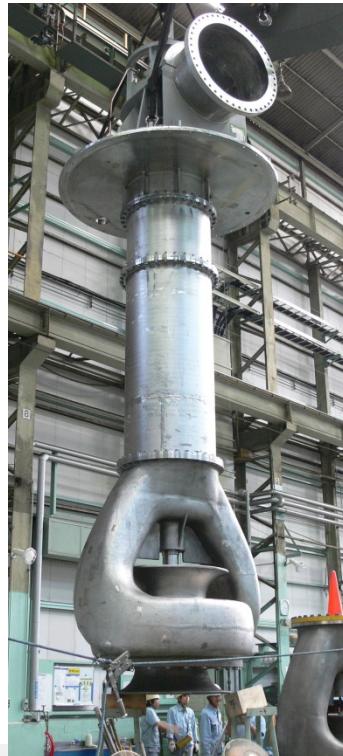
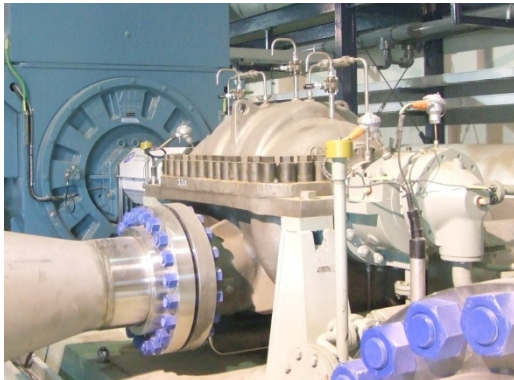
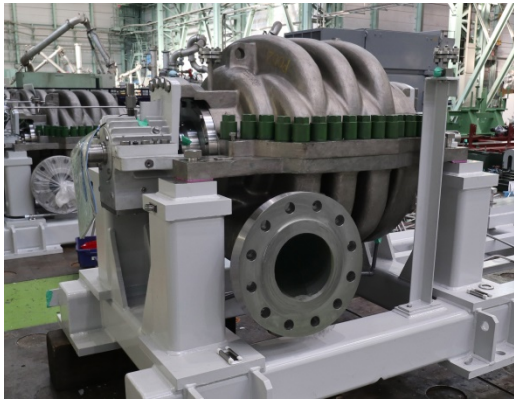


経済産業省2020年版

「グローバルニッチトップ(GNT)企業100選」に認定

世界市場のニッチ分野で勝ち抜いている企業に認定される
 経済産業省の「グローバルニッチトップ (GNT)企業100選」2020年版に当社が認定されました。
 認定されたのは「海水淡水化プラント向け大型ポンプ」で、当社の長年の実績と高い技術力が評価された
 ものです。今後もさらなる技術力向上に励み、世界の水不足の解決にポンプメーカーとして貢献してまい
 ります。

アラブ首長国連邦向け
 ライン再循環ポンプ



日本の技術力を世界にアピールする日本政府のPRビデオに、トリシマ取り上げられました。政府公式ウェブサイト「Moving Forward Japan: Innovating the Future」というシリーズの中の「Water Technology」で、世界の共通資源であり深刻なグローバル課題としても関心の高い「水」を守るため、クリーンな水を作り出す世界トップレベルの技術を持つ企業の一社として紹介されました。

■政府広報ウェブサイト

www.japan.go.jp/technology/moving_forward/

■QRコード



30秒版



120秒版

【1】 2020年度中間決算実績

【2】 新型コロナ禍での守りと攻め

【3】 2020年度通期決算見通し

	2019年度 実績	2020年度 計画	増減
受注高	488	460	▲28
売上高	471	470	▲1
売上総利益 (売上総利益率)	123 (26.1%)	122 (26.0%)	▲1 (▲0.1pt)
販管費	111	105	▲6
営業利益 (営業利益率)	12 (2.5%)	17 (3.6%)	+5 (+1.5pt)
経常損益	13	16	+3
親会社株主に帰属する 当期純利益	5	12	+7

2020年度通期単体子会社別計画

■ 単体

単位：億円

	2019年度 実績	2020年度 計画	増減
売上高	378	375	▲3
売上総利益 (売上総利益率)	77 (20.4%)	78 (20.8%)	+1 (+0.4pt)
販管費	75	70	▲5
営業利益 (営業利益率)	2 (0.5%)	8 (2.1%)	+6 (+1.6pt)

■ 子会社

単位：億円

	2019年度 実績	2020年度 計画	増減
	93	95	+2
	46 (49.5%)	44 (46.3%)	▲2 (▲3.2pt)
	36	35	▲1
	10 (10.7%)	9 (9.5%)	▲1 (▲1.2pt)

① 自己株式の取得

2020年5月26日発表

- 自己株式の取得に関する決議事項

取得し得る株式の総数	600,000株（上限）
株式の取得価額の総額	450,000,000円（上限）
取得期間	2020年6月1日～2021年5月14日

2020年11月13日現在

- 累計取得自己株式

株式数	200,000株
価額の総額	166,200,000円

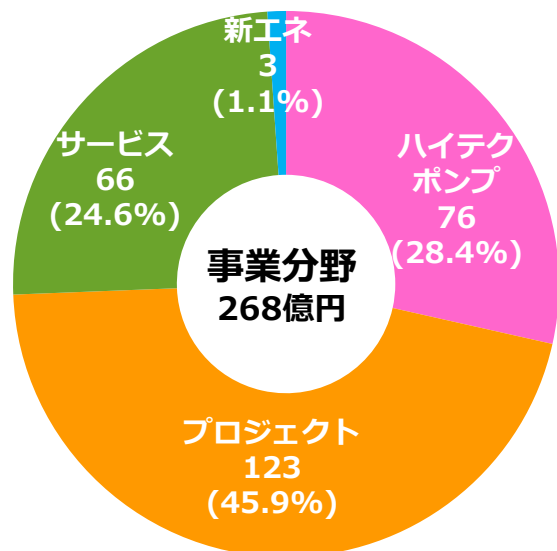
② 配当

2020年度中間期配当 9円/株

補足資料

事業分野及び需要先

(2020年度2Q受注高実績 (億円) 括弧内は構成比)



ハイテクポンプ

発電所や海水淡水化プラント、上下水道施設、かんがい施設など向けの大型ポンプ（エンジニアリングポンプ）及び一般産業向けのエコポンプ（小型標準ポンプ）。

プロジェクト

上下水道、かんがい、排水ポンプ場におけるポンプ設備全体のEPC（設計・調達・建設）案件。

サービス

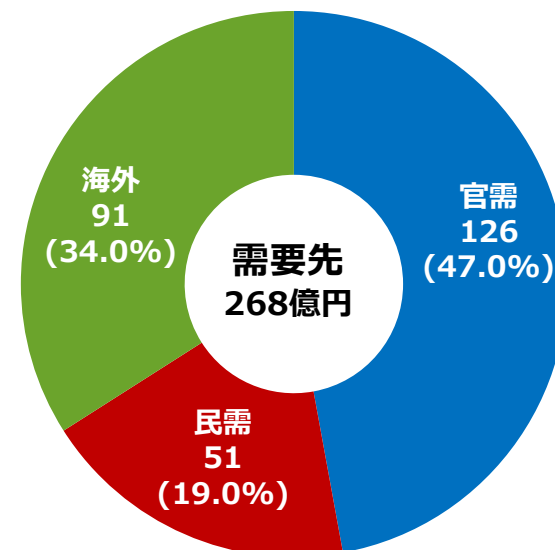
既存ポンプ及びポンプ設備の取替え、保守点検、REDU®*、SV（スーパーバイザー）の派遣、部品交換など。

新エネルギー・環境

風力発電や小水力発電の導入における設計・施工・メンテナンス。環境装置（農業集落排水向け真空式下水道収集システム）

* Re Engineering & Design Upの略で、当社独自のサービス。

お客様の製品を預かり、老朽化、磨耗している部品の復元や改善、交換など、最新の技術を用いてアップグレードさせてお返すサービスメニューです。



官公需

日本国内の国及び地方公共団体向け。上下水道施設、排水施設及びかんがい施設など。

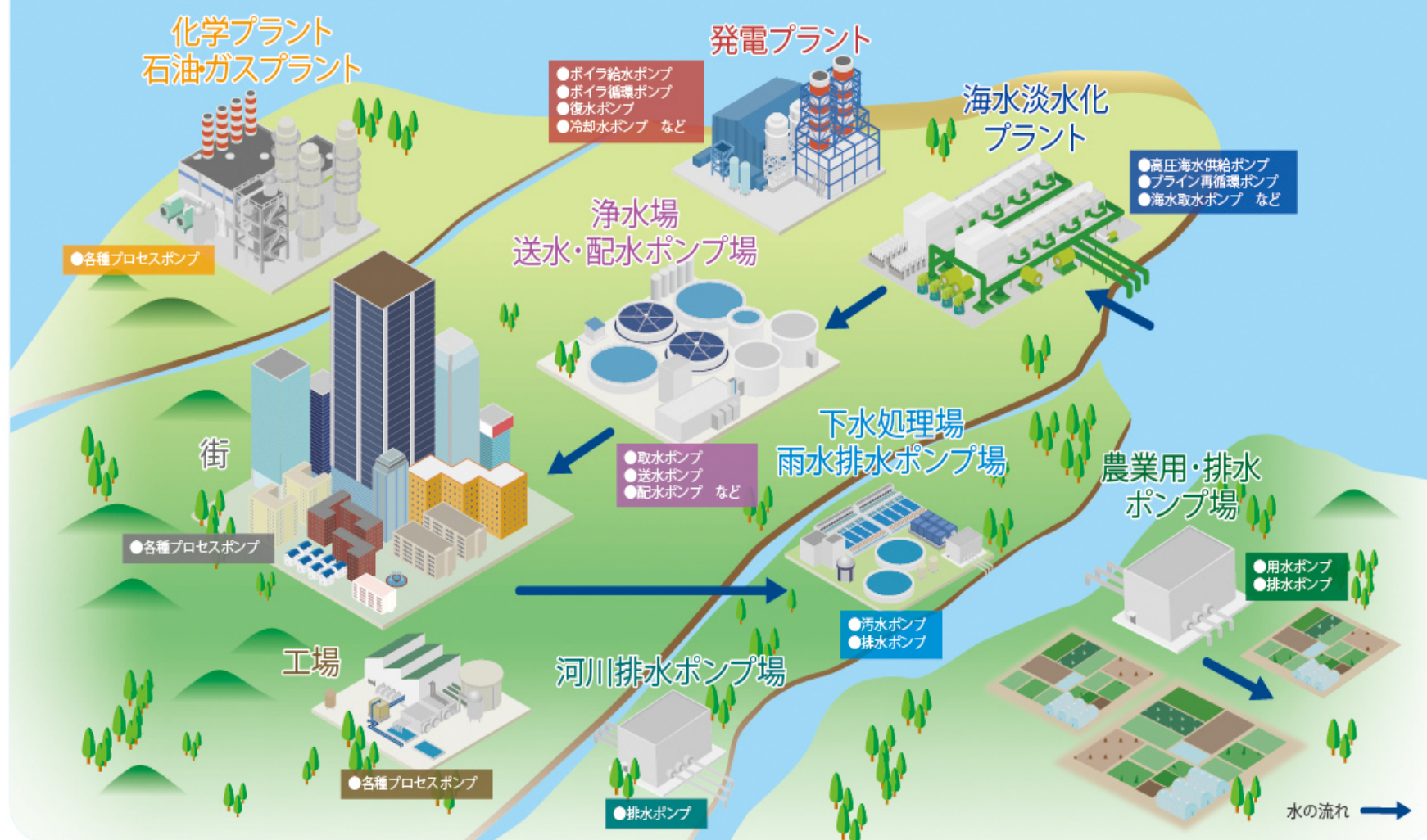
民需

日本国内の民間企業向け。火力発電所（事業用、バイオマス発電やごみ焼却発電、自家発電含む）、一般産業の各種工場、ビル設備、商業施設など。

海外

海外向け海水淡水化プラント、火力発電所、上下水道施設かんがい施設など。

トリシマポンプは様々な暮らしのライフラインを支えています。



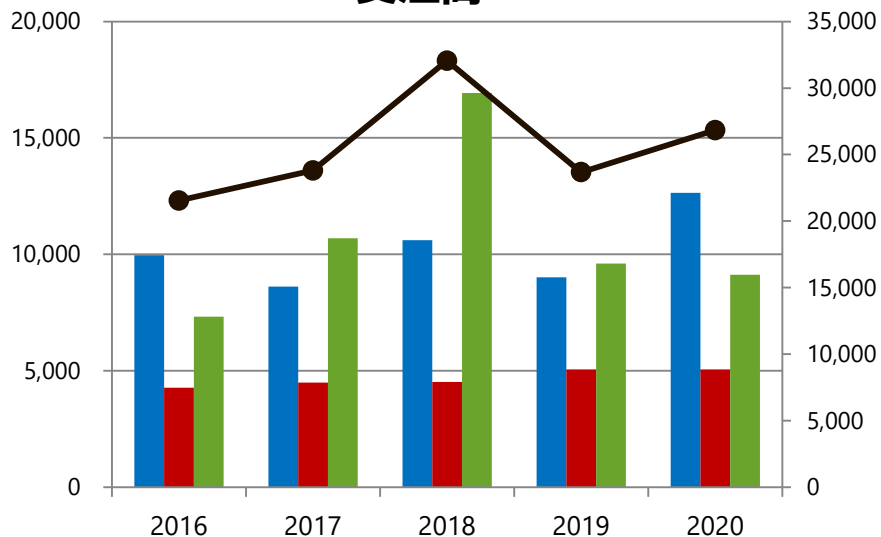
百万円

	2019年度 第2四半期			2020年度 第2四半期		
	受注	売上	受注残	受注	売上	受注残
官 需	9,007	4,004	17,588	12,643	3,950	23,680
前年増減率	▲15.1%	▲13.2%	▲2.7%	40.4%	▲1.3%	34.6%
民 需	5,051	4,401	7,098	5,058	4,413	7,044
前年増減率	11.9%	16.3%	9.9%	0.1%	0.3%	▲0.8%
海 外	9,605	9,166	30,347	9,129	9,857	28,525
前年増減率	▲43.3%	▲14.6%	▲10.0%	▲5.0%	7.5%	▲6.0%
合 計	23,664	17,572	55,034	26,832	18,221	59,251
前年増減率	▲26.2%	▲8.2%	▲5.5%	13.4%	3.7%	7.7%

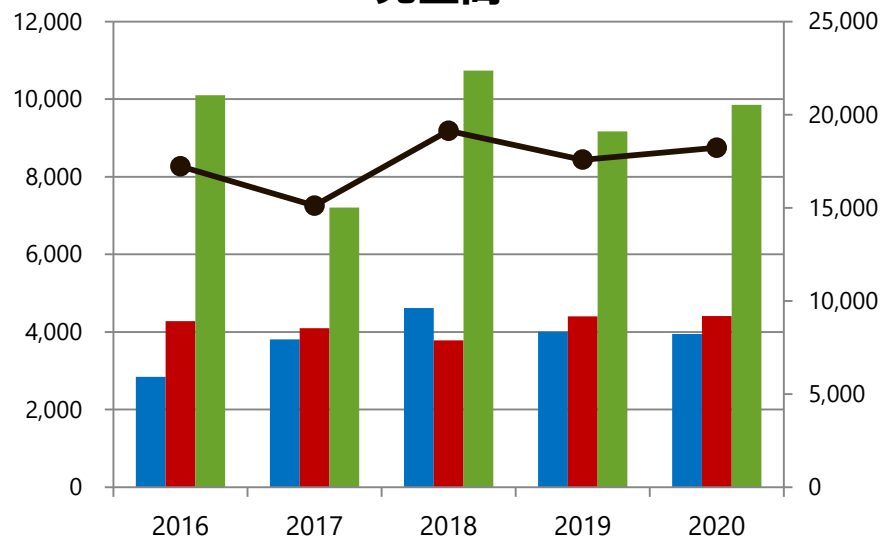
第2四半期 受注高・売上高・受注残高の推移

(需要先別)

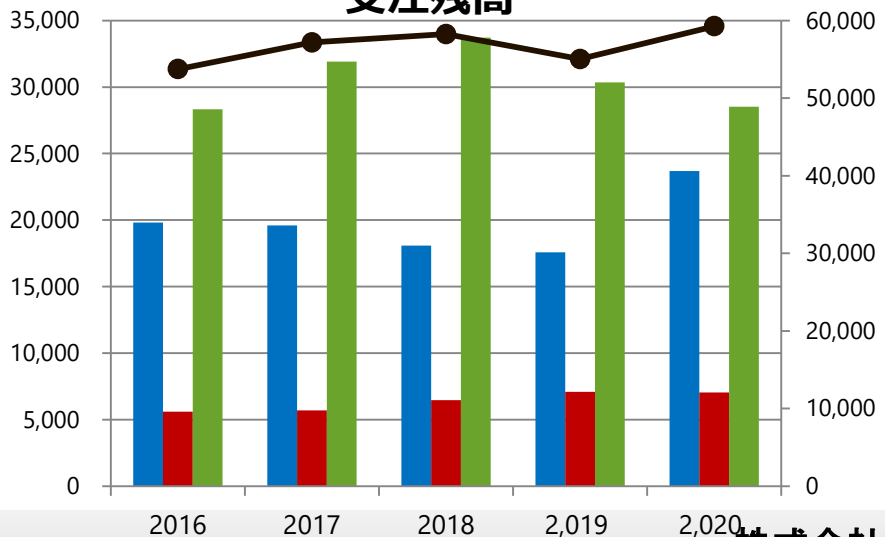
受注高



売上高



受注残高



左軸

■ 官需 ■ 民需 ■ 海外

右軸

● 合計額

単位：百万円

受注高・売上高・受注残高（事業領域別）

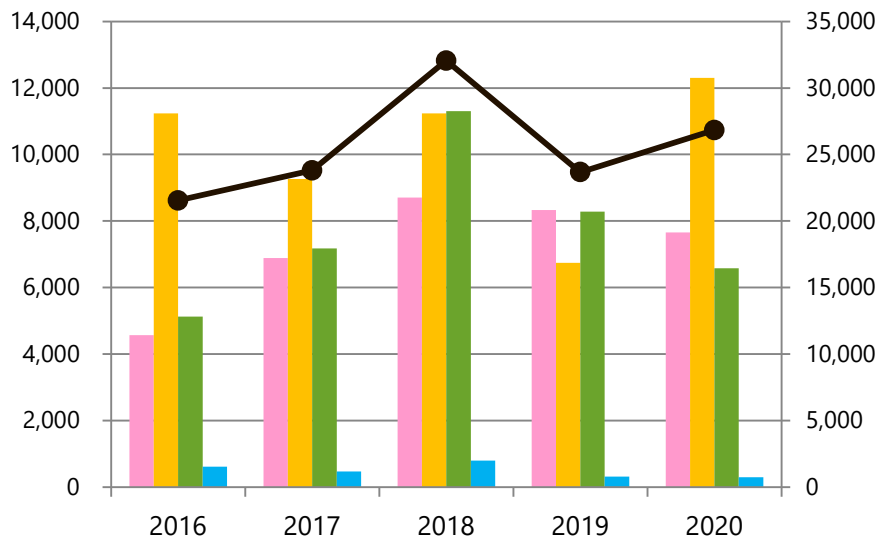
百万円

	2019年度 第2四半期			2020年度 第2四半期		
	受注	売上	受注残	受注	売上	受注残
ハイテクポンプ	8,331	5,304	21,095	7,654	6,269	21,027
前年増減率	▲4.3%	▲22.1%	19.0%	▲8.1%	18.2%	▲0.3%
プロジェクト	6,741	4,950	24,583	12,305	5,086	28,816
前年増減率	▲40.0%	26.9%	▲19.0%	82.5%	2.7%	17.2%
サービス	8,281	6,819	9,201	6,580	6,612	9,258
前年増減率	▲26.8%	▲14.9%	▲5.1%	▲20.5%	▲3.0%	0.6%
新工ネ・環境	312	499	156	294	254	150
前年増減率	▲156.4%	22.9%	▲67.9%	▲5.8%	▲49.1%	▲3.8%
合計	23,664	17,572	55,034	26,832	18,221	59,251
前年増減率	▲26.2%	▲8.2%	▲5.5%	13.4%	3.7%	7.7%

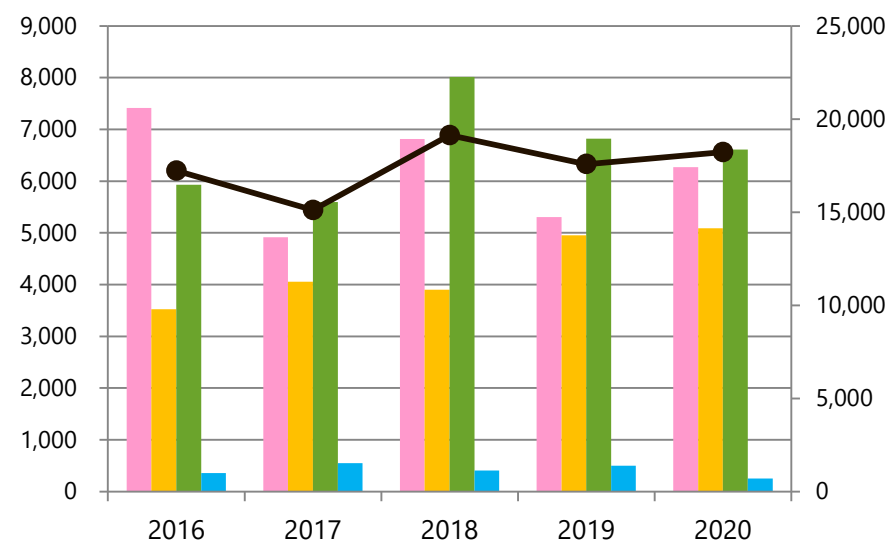
第2四半期 受注高・売上高・受注残高の推移

(事業領域別)

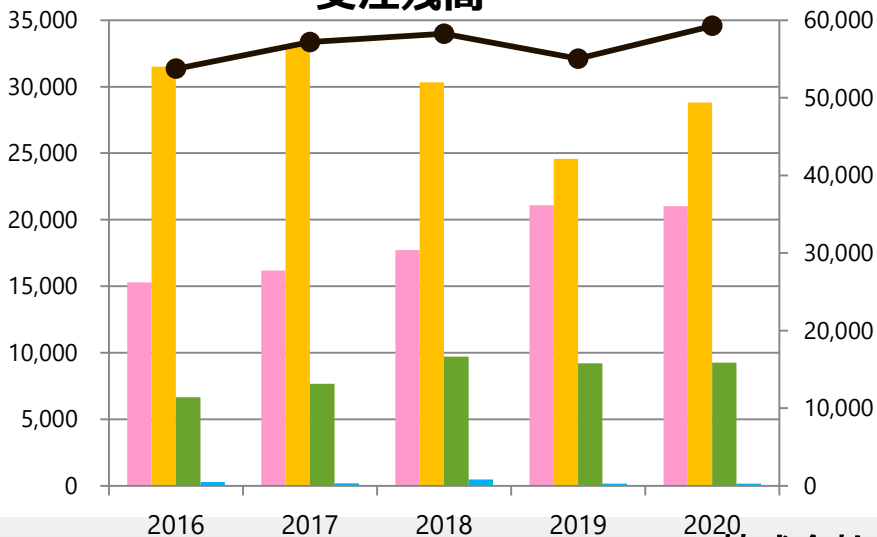
受注高



売上高



受注残高



左軸

- ハイテクポンプ
- プロジェクト
- サービス
- 新エネ

右軸

● 合計額

単位：百万円

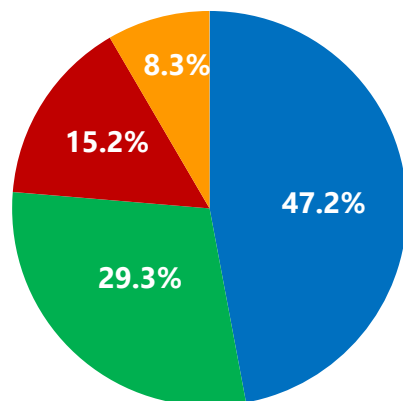
地域別受注高

億円

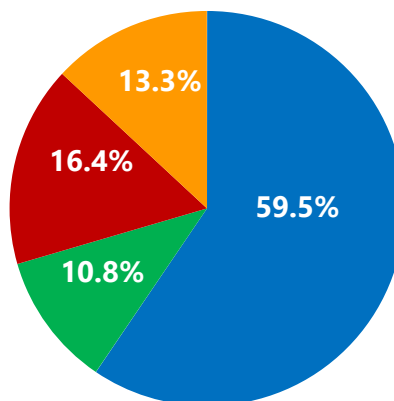
	日本	海外全体	海外内訳			合計
			アジア	中東	その他	
2018年度 第2四半期	151 (47.2%)	169 (52.8%)	94 (29.3%)	49 (15.2%)	27 (8.3%)	321
2019年度 第2四半期	141 (59.5%)	96 (40.5%)	26 (10.8%)	39 (16.4%)	31 (13.3%)	237
2020年度 第2四半期	177 (66.0%)	91 (34.0%)	37 (13.9%)	42 (15.5%)	12 (4.6%)	268

■ 日本 ■ アジア ■ 中東 ■ その他

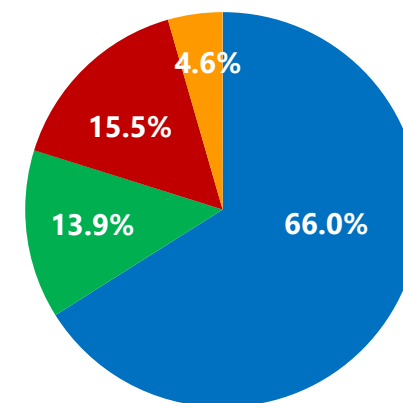
2018年度2Q



2019年度2Q



2020年度2Q

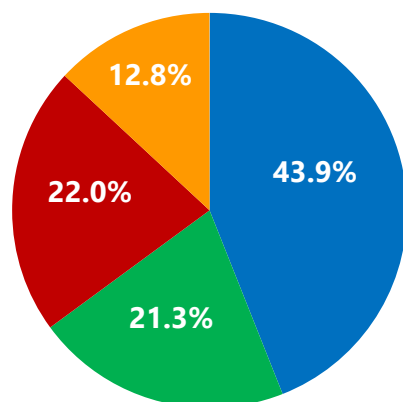


億円

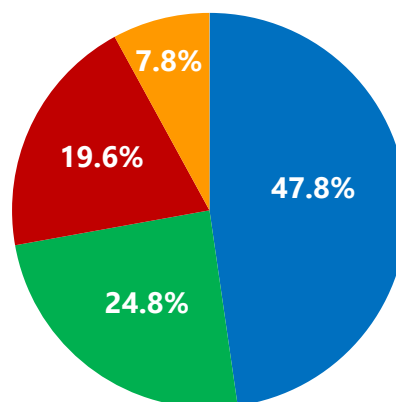
	日本	海外全体	海外内訳			合計
			アジア	中東	その他	
2018年度 第2四半期	84 (43.9%)	107 (56.1%)	41 (21.3%)	42 (22.0%)	24 (12.8%)	191
2019年度 第2四半期	84 (47.8%)	92 (52.2%)	44 (24.8%)	34 (19.6%)	14 (7.8%)	176
2020年度 第2四半期	83 (45.9%)	99 (54.1%)	35 (19.1%)	39 (21.2%)	25 (13.8%)	182

■ 日本 ■ アジア ■ 中東 ■ その他

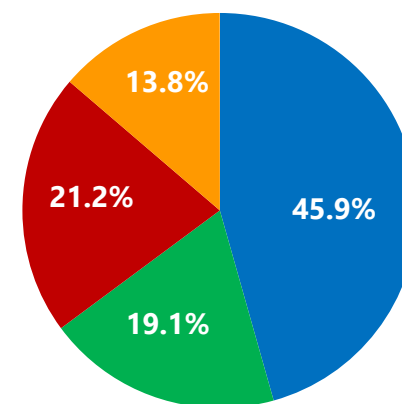
2018年度2Q



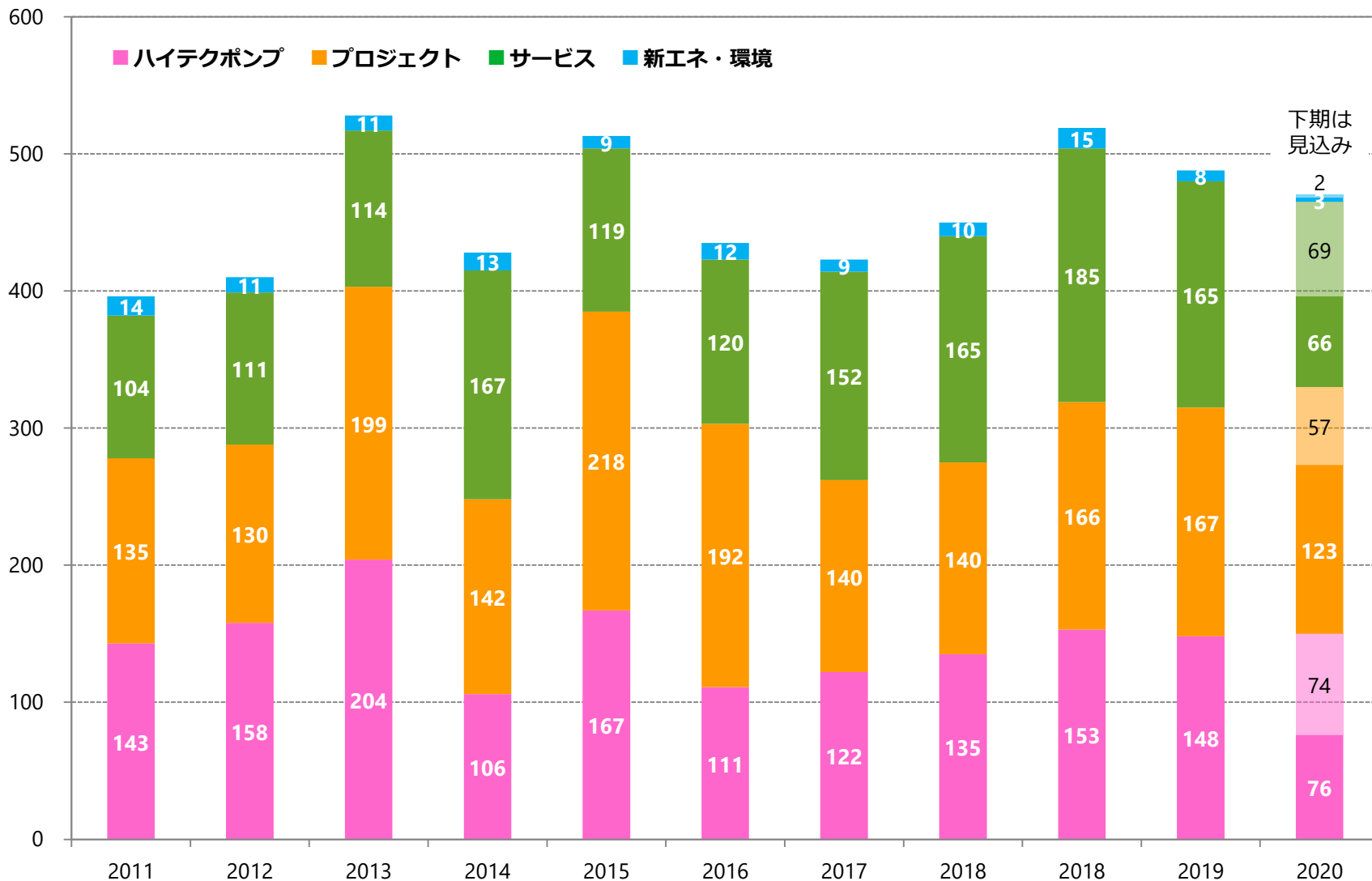
2019年度2Q



2020年度2Q



事業領域別受注高の推移



本資料の業績などに関する将来の予想、見通しなどは現時点で入手可能な情報に基づき算出したものです。

したがって、実際の業績は今後の様々な要因によって、異なる結果となる可能性があることをご了承ください。

【お問い合わせ先】

株式会社 西島製作所 総務部 I R広報グループ

Tel : 072-695-0551

Email : ir-torishima@torishima.co.jp